

明日香村小委員会報告（案）の概要

（諮問）

「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等を今後一層進めるための方策はいかにあるべきかについて」

1. 明日香村の歴史的風土の保存の意義

- ・ 我が国の律令国家としての形成過程とともに、当時東アジアとの交流があったことも示す重要な地域
- ・ 自然的、人文的環境と一体となり、古代国家形成の記憶をとどめる歴史的風土は我が国の貴重な財産

2. 明日香村の歴史的風土の保存に関するこれまでの取組

- 明日香村の「古都」指定
 - ・ 特色ある歴史的風土の侵犯が懸念されていたことから、古都保存法制定とあわせ「古都」に指定
- 明日香法の制定
 - ・ 住民生活との調和を図りつつ一層の歴史的風土保存を図るため、閣議決定を経て明日香法を制定
- 明日香法に関連する各種施策によるこれまでの取組
 - ・ 第1・2種歴史的風土保存地区等の規制の結果、村全域にわたって歴史的風土が良好に保全
 - ・ 3次にわたる整備計画（10ヵ年）によって、住民生活を支える基幹的インフラ整備水準は向上
 - ・ その他、明日香村整備基金、明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金が、一定の成果を達成

3. 明日香村を巡る現状と課題

- 社会経済情勢に伴う変化
 - ・ 人口減少、高齢化進展等を背景に農林業等地域産業が衰退、田園景観への影響も懸念
 - ・ 歴史的風土の創造的活用に対する意識向上等を背景に、新たな取組が展開
- 歴史的風土保存の状況
 - ・ 古都の指定以前からの景観阻害要因、歴史的風土と不調和な建築物や広告物等が存在
 - ・ 古都保存法による買入れ地が村内に散在し、適切な管理がなされず、景観への支障が懸念
 - ・ 住民、地域外のボランティアや企業による景観保全活動が展開されつつあるところ
- 歴史的文化的資産の状況
 - ・ 世界遺産暫定一覧表への追加により歴史的文化的資産の価値は向上 しかしながら視覚的にわかりにくい
 - ・ これまでの文化財調査の蓄積がわかりやすく整理されていない 利活用の連携もとれていない
- 観光や交流の状況
 - ・ 宿泊滞在型観光ニーズ等への対応が不十分、にぎわい拠点の形成に遅れ

4. 今後の取組の方向性

- 歴史的風土保存の取組が価値を生み出し、村の魅力を一層高めていることを認識
- 歴史的風土の創造的活用は継続
- 明日香村の主体性を活かし、自立性を向上
- 歴史的風土の価値を共有すべく、多様な主体との連携、都市や世界との交流にも重点

5. 今後取り組むべき施策のあり方

- 歴史的風土と住民生活の共生を支える土地利用のあり方
 - ・ 定住人口確保のため、市街化区域等の活用 移住希望者への情報提供の充実等
 - ・ 古都買入地について、景観の維持・向上に資するような管理活用 村の主体性を活かした管理活用のしくみ及び支援の措置
- 歴史的風土にふさわしい景観の維持・向上
 - ・ 景観計画等きめ細かな景観に係るルール策定の策定 文化的景観の検討の推進 景観協議会の活用
 - ・ 法制定以前から存在する景観阻害要因の改善を促進するための措置
 - ・ 新たな公による景観保全活動の推進
- 歴史的・文化的資産の保存と利活用
 - ・ 明日香の歴史展示等のあり方に関する関係機関の共通認識の醸成に向けた検討と次期整備計画への反映
 - ・ 拠点間のネットワーク化の強化、利活用を意識した史跡整備、CGなど視覚的にも理解しやすい工夫
- 歴史的風土を活用した産業振興による地域活力の向上
 - ・ 農産物直売所など所得・意欲向上につながる取り組みや観光・交流の機会拡大につながる取組の推進
 - ・ 観光に係る戦略的な取り組みの展開 交通体系の充実（周遊歩道の総点検・再整備等） にぎわい拠点形成の推進 伝統的街並みの再生
- 今後の支援のあり方
 - ・ 新たな課題等への対応を盛り込んだ次期整備計画の策定
 - ・ 村の財政状況、基金運用状況を踏まえ、景観の維持向上等新たな課題に対応するため交付金と同様の措置の継続
 - ・ 取り組みの成果の把握及びより戦略的な取組の実施を図るため、整備計画をはじめとする各種施策について、マネジメントのしくみの導入